

2018 DAIWA KAWAHAGI OPEN

2018 ダイワカワハギオープン



決勝大会結果

開催場所 久比里（鴨居～竹岡沖）
参加人数 18名

気温 18.0℃
水温 18.0℃



釣り座抽選の後、健闘を誓い合う



2018DK0（ダイワカワハギオープン）決勝が12月1日（土）、神奈川県・久比里を舞台に開催された。16回目となる今回は、関東予選を勝ち抜いた12名、関西東海予選から5名、昨年の優勝シード1名を加え18名で競われた。今大会は、昨年現れた新星・佐々木健仁選手の連覇なるか、連覇経験者の宣沼昌樹・宮澤幸則両選手の奪還なるか、ファイナル常連者、シルバーコレクターの初優勝なるか、はたまた今年も新星が現れるのか、など見所が満載。ハイレベルな戦いが予想された。

鴨居沖で久松選手が好スタート切る





当日は早朝こそ冷え込んだものの快晴となり、気温が一気に上がり汗ばむような陽気に。例年、主戦場となるのは竹岡沖だが、今年はこの時期にしては例を見ないほどの不調のため、鴨居沖水深25mでスタート。水温が高く群れは固まっていない模様で1枚が勝敗を分ける展開が予想された。

スタート直後はミヨシ寄りでポツポツと良型があがりだす。その中で右舷4番の久松秀文選手が連チャン&ダブルで開始1時間で一気に数を6枚に伸ばす。「2つの大会でタイトルを獲った。残るはDK0のみです」と気合が入る久松選手がこれ以上ない好スタートを切った。その隣の注目選手のひとり、宮澤幸則選手は、久松選手のダッシュを見せられペースが上がらない。その他、ミヨシ寄りの選手が久松選手を追う展開に。

鈴木選手はコンスタントに掛け続ける



ところが、その後パタッと止まり9時で7枚と伸び悩む。そんな中、右舷8番の鈴木泰成選手はコンスタントに掛けていきこの時点で久松選手を抜き8枚になるとそのまま一気に10枚を超える。序盤戦は鈴木選手に久松選手、昨年の覇者・佐々木選手が続く。佐々木選手はロッドを折るというトラブルに遭いながらも必死で食らいついていく。

「今まで2位が2回なので今年こそは優勝を」と気合が入るのは鈴木選手。

中盤に差し掛かると、大型の群れが回遊して、タモが必要なほどの大型ラッシュも。そんな中でもペースを変えずコンスタントに掛けていくのは鈴木選手。開始からしばらく不調が続いた大会4連覇を達成している萱沼昌樹選手は中盤から数を伸ばして上位をうかがう。左舷の稲見清士選手も中盤から枚数を重ねていく。その後、正午には竹岡沖に移動するも数枚あがったのみで再度鴨居沖へ。ラスト30分勝負となったが、ここで鈴木選手がラストスパート。ダブルを含め4枚釣って栄冠を確実なものにした。

鈴木選手がぶっちぎりで初栄冠に！



13時30分に終了の合図。すみやかに検量が行われた結果、開始から最後までつねに一定のペースで釣り続けた鈴木選手が26枚で初栄冠に輝いた。愛知県出身の鈴木選手が優勝したことで、タイトルが初の“箱根越え”となった。2位にはキャスト時にロッドを折って「心が折れた」という佐々木選手が、粘りを見せてラスト30分で3枚追加し14枚で2位に滑り込んだ。3位には鈴木選手の隣で後半追い上げ13枚の萱沼選手が入った。稲見選手も同数あげたがサイズにより萱沼選手が3位に。12枚の選手が4名、11枚の選手が3名と、優勝の鈴木選手は別格として、1枚が明暗を分ける結果となった。11枚の宮澤選手は「来年は1次予選から出直します」と、来年の飛躍を誓った。



優勝：鈴木 泰成選手

キャストして1、2回底を切り、大きくアオってオモリを見せてアピールし、着底と同時に小さく竿を揺らすと触りだしてきました。食い込みが悪かったので、そのまま止めて穂先が揺れっぱなしになって竿を押さえつけるようなアタリに変わってからキュッとアワせるとうまく掛かりました。ほとんどこのパターンでした。

仕掛けは上下にスピードの6.5号か7号のハリス10cmのロングハリス、真ん中には小型を拾うつもりでワイドフック2.5号かスピード6.5号7cmにしました。前日、前々日とブラにきたのですが、食い込みが悪いのがわかっていたので、ロッドは「極鋭レッド チューンAGS SF」を選択しました。



準優勝：佐々木 健仁選手

前半はフルキャストして探っていきましたがアタリが少なく拾っていきました。流しかえの1投目は宙でも掛けていきました。中盤から終盤は掛けバラシが多かったり竿を折ったりで心が折れましたが、最後にもう一度何とかしようと思い、最後に3枚連続で掛けられたのがよかったと思います。ハリスはスピード6.5号、7号、ハゲバリ系とまちまちでした。





















3位：萱沼 昌樹選手

前半は手が合わずに苦戦しました。取りこぼしが多く心が壊れました。隣の鈴木さんの釣りを見て取り入れたら、立て直すことができました。



みよし

	枚数 12	5位 大下 晶弘 選手 左-1	5位 右-1 大野 浩司 選手	12	
	6	15位 高橋 竜也 選手 左-2	18位 右-2 清水 恭仁 選手	3	
	14	準優勝 佐々木 健仁 選手 左-3	9位 右-3 宮澤 幸則 選手	11	
	11	9位 松浦 明 選手 左-4	9位 右-4 久松 秀文 選手	11	
	12	5位 吉竹 賢次 選手 左-5	15位 右-5 山中 栄一 選手	6	
	13	4位 稲見 清士 選手 左-6	17位 右-6 小柳 俊継 選手	4	
	9	13位 香取 孝夫 選手 左-7	3位 右-7 萱沼 昌樹 選手	13	
	12	5位 鶴岡 克則 選手 左-8	優勝 右-8 鈴木 泰成 選手	26	
	10	12位 伊藤 純一 選手 左-9	13位 右-9 御手洗 和彦 選手	9	

順位	お名前	住所	釣座	尾数
優勝	鈴木 泰成	知多郡	右舷-8	26
2	佐々木 健仁	横浜市	左舷-3	14
3	萱沼 昌樹	横須賀市	右舷-7	13
4	稲見 清士	神戸市	左舷-6	13
5	大下 晶弘	調布市	左舷-1	12
5	大野 浩司	大和市	右舷-1	12
5	鶴岡 克則	君津市	左舷-8	12
5	吉竹 賢次	西脇市	左舷-5	12
9	久松 秀文	名古屋市	右舷-4	11
9	松浦 明	横須賀市	左舷-4	11
9	宮澤 幸則	東久留米市	右舷-3	11
12	伊藤 純一	船橋市	左舷-9	10
13	香取 孝夫	秦野市	左舷-7	9
13	御手洗 和彦	横浜市	右舷-9	9
15	高橋 竜也	愛甲郡	左舷-2	6
15	山中 栄一	川崎市	右舷-5	6
17	小柳 俊継	市川市	右舷-6	4
18	清水 恭仁	堺市	右舷-2	3

※敬称略

※コンピューターの表示のため、旧漢字等を修正させていただいております。予めご了承ください。

※釣った魚の総尾数で順位を決定しました。上位入賞者が同尾数の場合は、釣った魚1尾の最大重量で決定します。

※決勝大会の優勝者には次年度決勝大会シード権が、2位・3位には最寄りの二次予選シード権が与えられます。